

能登線の歴史

年月日	主な出来事
明治31年04月24日	初代津幡駅（現在の本津幡駅）から七尾を経て矢田新駅までの貨物線として七尾鉄道が開通する
明治33年	現在の津幡駅まで延伸し北陸本線と接続する
明治37年11月10日	客扱いを開始する
明治40年09月01日	七尾鉄道が国に買収されて官設鉄道（国有鉄道）となる
大正06年04月15日	矢田新駅を七尾港駅と改称する
大正14年12月15日	七尾駅が現在の場所の移転に伴い、七尾～七尾港間区間を分離 一部路線付け替える 七尾駅～和倉駅（現在の和倉温泉駅）間が開通する
昭和03年10月31日	和倉駅～能登中島駅間が開通する
昭和04年12月05日	七尾駅～七尾港駅間の客扱いを廃止する
昭和07年08月27日	能登中島駅～穴水駅間が開通する
昭和10年07月30日	穴水駅～輪島駅間が開通、国鉄「七尾線」全線が開通する
昭和27年12月01日	鉄道建設審議会で能登線が建設着工線選定される
昭和28年01月09日	穴水駅で鉄入れ式が行われ、能登線の工事が始まる
昭和34年06月15日	穴水駅～鶴川駅間が開業
昭和35年04月17日	鶴川駅～宇出津駅間が開業
昭和38年10月01日	宇出津駅～松波駅間が開業
昭和39年09月21日	松波駅～蛸島駅間が開業し、国鉄「能登線」全線が開業する
昭和56年11月20日	貨物営業廃止
昭和59年02月01日	荷物営業廃止、七尾駅～七尾港駅間廃止
昭和60年07月11日	古君一鶴川間において、急行「能登路5号」が脱線・転覆事故をおこし、7人が死亡・32人がケガをする
昭和61年03月05日	国鉄「能登線」廃止、第三セクター化が決定
昭和62年04月01日	国鉄の分割・民営化により、JR西日本金沢支店の営業路線となる
昭和62年05月01日	第三セクター「のと鉄道株式会社」が設立
昭和63年03月24日	JR能登線廃止、「サヨナラ列車」が運転される
昭和63年03月25日	能登線はJR西日本からのと鉄道に無償で経営移管され、のと鉄道・穴水～蛸島間が開業開始
昭和63年07月24日	皇太子御夫妻パノラマカーにご乗車
平成元年08月28日	七尾線の七尾以北の区間をのと鉄道が経営を引き継ぐことを正式決定する
平成02年03月24日	七尾線電化起工式 和倉温泉駅で挙行
平成03年09月01日	JR七尾線の七尾～輪島間がJR西日本からのと鉄道へ経営移管し、同区間が開業開始 JR七尾線の津幡～和倉温泉間が電化開業する 能登線に金沢直通急行列車「能登路」が復活する
平成05年	列車無線導入 能登線CTC化工事着手
平成06年12月03日	比良駅に行違い線設置により甲までCTC化完了 供用開始
平成07年03月17日	のと鉄道転換後初の新駅「七見駅」開業
平成08年	九十九湾小木までCTC化完了
平成08年09月28日	鶴飼駅に行違い線設置・供用開始
平成08年12月06日	能登線穴水～珠洲間CTC化完了
平成12年02月28日	のと鉄道・穴水～輪島間の廃止、バス代替による輸送の転換を決定する
平成13年03月31日	のと鉄道・穴水～輪島間運転終了
平成13年04月01日	のと鉄道・穴水～輪島間廃止
平成14年10月24日	のと鉄道パノラマカー急行「のと恋路号」が廃止となる
平成16年03月23日	のと鉄道取締役会において、能登線の翌年3月末の廃止を正式決定する
平成16年03月30日	のと鉄道から国土交通省へ廃止を届け出る
平成17年03月31日	20時02分、能登線最後の営業列車となる穴水発珠洲行きを最後に、のと鉄道・穴水～蛸島間の運転が終了
平成17年04月01日	のと鉄道・穴水～蛸島間廃止
平成18年11月01日	珠洲駅～蛸島駅区間の線路撤去作業開始
平成18年11月13日	穴水町比良駅での線路撤去が始まり、本格的な全線撤去作業が開始される
平成20年05月04日	正院～蛸島駅間にてNPO法人「のとエア・レール21」の主催による新蛸島駅（仮称）からの体験乗車開始

※赤色の文字が、能登線関連の出来事です。